

# 支援プログラム

事業所名：放課後等デイサービス ピクシー

令和6年10月1日

法人（事業所）理念		『学ぶ・伸ばす・交わる・活かす』 体験から学び、個性を伸ばし、人や社会と交わり、経験を活かす。		
支援方針		個性を尊重しながら、日々のルーティンワークにて身辺自立や認知力の強化・定着を図り、イベントや集団活動を通じてソーシャルスキルの習得を図る。		
営業時間		【 平日 】 10 時 00 分 から 19 時 00 分 まで	送迎実施の有無	あり ・ なし
		【 学校休業日 】 9 時 00 分 から 18 時 00 分 まで		
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	クッキングイベントの実施〔昼食やおやつ作りの買い出しから調理、片付けまで〕 おやつ購入システム〔金銭管理や計算力・自発性（自ら選ぶ/決める）を養う目的〕 絵や文字による指示や空間の構造化 掃除や片付けの習慣化 排泄・体調・気分・身だしなみ等セルフケアへの喚起・意識付け		
	運動・感覚	専門職員による運動・製作プログラムの実施 運動能力の向上を目的とした外出イベントの実施 ボードゲームや知育玩具の提供		
	認知・行動	コグトレ（認知機能トレーニング教材）の導入、提供 空間や時間の概念形成を目的とした遊びやレクリエーションの実施 行動障害への対応と予防のための環境整備		
	言語 コミュニケーション	コミュニケーションを必要とする集団活動・レクリエーションの実施 イベント等での表現や発表する機会の提供 絵カード等を使用した構造化支援		
	人間関係 社会性	SSTの実施（挨拶や語彙力・言い換え・読解力の向上を図るワークシートの導入、提供およびトラブル回避のロールプレイの実施） ルールを伴うゲームや協調性を養うイベント・集団活動の実施 社会性（マナーや振る舞い）を養うねらいを含んだ外出イベントの実施		
家族支援		送迎や預かりニーズ等実務的な支援だけでなく、児童の特性や子育てに関する困りごとの相談援助や、障害特性に関する情報提供を含めた家族支援を行う。 傾聴姿勢を基本ベースに、家族へのこまめな声掛けや聞き取りによる情報交換を積極的に行い、コミュニケーションを深めることで施設・家庭間の連携を強化し、さらに充実した本人支援に繋げる。		
移行支援		必要に応じて併行利用先や学校等と状態や支援内容についての情報共有や支援内容等の擦り合わせ等の連携を図りながら支援する。		
地域支援・地域連携		日頃より行政や学校・他事業所などの関係機関との連携に努めると共に、周辺地域の施設やイベント等の情報を積極的に取入れ、定期的に地域交流の機会を設けている。		
職員の質の向上		月に1度、職員間の研修の実施 各委員会活動の実施 外部研修への参加		
主な行事等		避難訓練〔火災・地震・風水害等〕、季節に関するイベント〔夏祭り・クリスマス会・初詣等〕、地域交流を目的とした外出イベント、保護者会等		